

施設留保ビームタイム利用申請書 2019/08/09 書式変更

提出日 年 月 日

配分希望ビームタイムの開始16日前までにビームライン担当者に提出すること
ビームライン担当者は配分原案を作成の上当該ビームラインを担当するビームライン(群)責任者に提出する

1. 実験申請者氏名

_____ e-mail _____

2. 利用ステーション

3. カテゴリー及び実験課題名 (カテゴリーについては次頁参照)

カテゴリー【 】

実験課題名： _____

4. 実験参加メンバー (氏名・所属・身分)

5. 希望時期/時間

6. 実験内容 (紙面が不足する場合は資料を添付して下さい)

7. 持ち込み試料・材料、実験上の安全に関して

PAC 課題申請と同様に、下記 URL を参照して持ち込み予定の試料・材料の物質名、形状、量、試料および実験法に関する安全性、安全対策等を記入してください。

<https://www2.kek.jp/imss/pf/use/proposal/>

8. 既存 PAC 課題との関係/今後の展開予定

以下担当者記入

ステーション担当者氏名：

ステーション担当者確認 (年 月 日)

【施設留保ビームタイム申請カテゴリー】

- a) マシン、ビームラインの故障等に対するビームタイムの補填。
- b) ビームライン・実験装置の性能向上をスピーディにする。
- c) 早期に成果を創出するために、やり残した実験を実施する。
- d) U型課題の受付をし、重要な研究の計画から成果公表までの時間を短縮する。

「既配分課題を排除する程の重要性」ではなくても緊急かつ重要なU型研究課題を実施する。

U型申請、審査は従来通りに行うが、留保枠、未配分BT内で実施すべきものかはレフェリーの意見を参考にPF-PAC委員長が判断する。

- e) 講習会、実習等や有望な新規ユーザーを開拓する。

※利用経験者による新しい研究提案はU型課題として処理する。

- f) 教育用ビームタイムの時間確保。
- g) 施設、ビームラインの運営に対する柔軟性を増し、一層の成果拡大に対して工夫をする自由度を作る。外国の放射光施設職員等の来所時にテスト実験を行なう等運用上の柔軟性を確保する。

実験終了後、速やかに「施設留保ビームタイム利用報告書」を提出してください。

施設留保ビームタイム利用報告書

提出日 年 月 日

提出先 PF 秘書室 (pf-sec@pfiqst.kek.jp)

課題番号

1. 実験申請者氏名

2. 利用ステーション及び実施時期／時間

3. カテゴリー及び実験課題名

カテゴリー【 】

実験課題名： _____

4. 実験参加メンバー（氏名・所属・身分）

5. 実験結果（紙面が不足する場合は資料を添付して下さい）